

かばん 入会案内

「かばん」は表現形式として短歌を選んだ創作者たちが自由に表現し、互いに研鑽しあう歌誌です。

入会された方には積極的な参加を期待します。

あなたの個性と情熱が、存分に発揮される場となりますように。

—歌人集団「かばん」の特徴 1984年の創刊以来の理念—

1. 先生（主宰・指導者）がない。
2. 何でも入る「かばん」である。

「結社」ともっとも異なる点は、**先生（主宰・指導者）をもたない**ことです。

短歌作品に対する添削・指導制度はなく、会員が相互に研鑽しあいながら、各自が独自の表現を伸ばすことを目指します。

出入りの自由なオープンな会です。「**何でも入るかばん**」の理念どおり、ひとつの価値観にとらわれず、ユニークな歌誌として幅広い作風を包容し、多くの斬新な作品が生まれる場となっています。

—会員の義務—

- ①会費の納入 ②投稿の〆切を守る（毎月20日） ③相互尊重 ④会の運営への協力
（購読会員は①③。③について、著しい迷惑行為等があった場合は編集部での判断で退会していただくことがあります。）

—かばんの運営システム—

- 編集人、副編集人は原則として毎年交代。発行人は常任：井辻朱美。
 - 年に数回、正会員自由参加の「かばん会議」を開き、運営や編集についての決議をします。
 - 事務局として版下作成、会計などの係をおきます（作業量や拘束時間等によっては会費免除）。なお実務への参加はボランティアであり、強制されることはありません。
- 正会員・・・本誌に短歌（ほか、持ち回りの作品評、その他自由投稿など）を掲載。会の運営に参加（任意で「かばん」会議への出席。会の運営に必要な仕事を分担して行う）。かばんの会DM、本誌掲示板を必ず確認しましょう。
- 購読会員・・・原稿の掲載、会の運営参加まなし。題詠への投票など、参加可能なイベントやメーリングリストに参加。

—更新・会費について（入会時の会費納入についてもこちらの内容になります*1）—

- 正会員、購読会員とも年2回更新があります。
- 3月10日まで（前期4～9月号分）、9月10日まで（後期10～翌3月号分）の納入により更新完了です。
- 基本的に毎号、掲示板で納入先等を掲載しています。そちらをお読みください。
- 〆切日までに納入がない場合は、半年間発送停止、納入前に原稿を提出していても掲載なしとなります。1年間で自動退会となります。
- 中途退会による返金はおこなっておりません。ご了承ください。

【振込期間】前期（4～9月号分） 3月10日までに正会員10000円（学生5,000円*）、購読会員3,000円前納
 後期（10～翌年3月号分） 9月10日までに正会員10000円（学生5,000円*）、購読会員3,000円前納

【振込先】 ①郵便振替の場合 振替口座：00170・1・580443「かばんの会」あて
 （筆名、ご本名、「〇年前期（or 後期）」を振込用紙の通信欄にご明記ください）
 ②銀行振込の場合 ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：019 店名：〇一九店（ゼロイチキョウ店）
 預金種目：当座 口座番号：0580443 名義：カバンノカイ
 （銀行口座名義がご本名の場合、振込人名を筆名にしてください）

*1 入会時の入会申込、会費納入は4月期 1月1日～2月15日まで、10月期 7月1日～8月15日まで。

*2 学割の「学生」とは4月1日現在25歳以下の方で、国公立の大学・学校および、文科省・都道府県知事が認可した私立の大学・学校に在学する方とします（大学院生、学校法人の認可を受けた専門学校生も含まれます）。

—かばんの会連絡用窓口—

- 編集部（歌稿修正その他、どこに連絡すればいいのかわかった時もこちらへ）…hensyu@kaban-tanka.jp
- 投稿用アドレス（会員作品等、すべての原稿の投稿はこちらへ。修正は編集部へ）…post@kaban-tanka.jp
- 入退会係（入退会関係のお問い合わせ）…info@kaban-tanka.jp
- 会計係（会計に関するお問い合わせ。入退会のお問い合わせではありません）…kaikei@kaban-tanka.jp
- 歌会係（歌会に関するお問い合わせ）…utakai@kaban-tanka.jp
- 地方サークル
 - ・かばん関西…kansai@kaban-tanka.jp
 - ・地方歌会…kabanutakai.chihou@gmail.com
- webでもさまざまなご案内をしています。
かばんweb（入会申込はこちら）…<http://www.kaban-tanka.jp/> かばんブログ…kaban-tanka.seesaa.net/
Kabamy ブログ…kabamy.jugem.jp/ かばん公式ツイッター（DMは基本的に受け付けていません。編集部までご連絡ください）…@kabannokai

—作品投稿と執筆について（正会員の方へ）—

- 添削・選歌はなく、そのまま掲載します。
 - ・短歌作品への添削および選歌（投稿歌の選択）はしません。原則として投稿はそのまま掲載します。
 - ・会員や誌面掲載に序列はありません。
 - ・投稿歌数は毎月8首以内。メール、郵送、ファクスでの投稿が可能です。
- 作品の評も重視します。
 - ・評を書くことで歌への理解が深まり創作にも広がりを与えることを期し、会員全員に作品評を書く機会があります（コーナーにより入会后半年以降の会員。都合によって辞退も可）。

〈本誌の発行形態と誌面〉

- ・月1回月上旬に発行、発送係から会員へ送付。
- ・6月号と12月号は特集記事を組み、特別号として増部数で発行します。
- ・外部販売価格500円（特別号は600円）／会員バックナンバー購入価格300円（特別号は400円。編集部へお問い合わせください）
- ・年度により別冊で「新人特集号」を作成することがあります。
- ・「特別作品」（12首以内）、「前号評」、「今月の歌」…入会半年以上の会員が名簿順に持ち回りで執筆します。
- ・「今月の一冊」…入会半年以上の会員のうち、編集部が係を決め執筆します。
- ・「自由投稿」…短歌以外のエッセイ、歌論、書評など自由投稿も常時受け付け。詳細は編集部にご相談を。
- ・巻末の「かばん掲示板」には、重要なお知らせが掲載されています。毎月必ずご参照ください。

〈原稿について〉

- 会員作品
 - ・毎月8首以内。
 - ・原則として未発表作品。ただし特別号（6、12月号）、本誌巻頭「特別作品」（12首以内）の場合、「かばん」に発表済みの作品も可。
 - ・1月号は名刺交換号のため各2首。
 - ・〆切は前々月の20日厳守（前号評は前月5日）（新年号の〆切は通常より早まります）
 - ・投稿宛先
メール…post@kaban-tanka.jp（修正については編集部 hensyu@kaban-tanka.jpへ）
手書き原稿…郵送またはFAX投稿（宛先は本誌掲示板を参照）
- そのほかのコーナーについて、本誌「掲示板」の執筆予定表を必ずご確認ください。
- メール投稿の注意事項

〈メール投稿見本〉

To: 投稿用アドレス (post@kaban-tanka.jp)

Subject: ○月号・歌稿・かばん太郎

春のかばん かばん太郎

忍ぶれど色に出にけりわが恋はものや思うと人の問うまで
わが庵は都のたつみ鹿ぞすむ世をうじ山と人はいうなり
立ち別れ いなばの山の峰に生るまつとし聞かば今帰り来ん
瀬を早み岩にせかる滝川のわれても末にあわむとぞ思う
淡路島かよう千鳥のなく声に幾夜ねざめぬ須磨【ルビ:すま】の関守
秋風にたなびく雲のたえ間よりもれいづる月の影のさやけさ
長からむ心もしらず黒髪のみだれてけさはものをこそ思え
ほととぎす鳴きつる方【ルビ:かた】をながむればただ有明の月ぞ残れる
【注:3首めの1句めのあとに一字空きがあります。】

メールの件名には、原稿の
①掲載月 ②種類 ③筆名
の3点を忘れずに!



※号、原稿の種類（歌稿、前号評等）、執筆者名が分かる件名に。

※1メール1原稿（たとえば、歌稿と前号評と執筆メモを出す場合、3つのメールになります）。

※メールの原稿はそのまま誌面に掲載されます（タイトルに「 」などをつける必要はありません。「 」があればそのまま原稿どおり掲載されます）。

※ルビや注意事項は【 】で表示。

※歌と歌の間は行アケしないでください。

※送信済の原稿の差し替えや修正は基本的に不可とします。

誌上掲載の作品に誤植があった場合は編集部にご一報ください。翌月に訂正を掲載いたします。

●投稿 Q&A

Q1 原稿が不掲載になることはある？

「かばん」は添削がなく、掲載される短歌や文章の内容は自由と聞きましたが、社会規範逸脱、極端な性描写、差別語、文学とは無関係な政治的主張、宗教喧伝のような内容の原稿は不掲載になりますか？

A 自己責任が原則

「かばん」は原則として会員の原稿はそのまま掲載します。もしその内容からトラブルが生じた場合、トラブルへの対処は執筆者が自己責任で行います。

①自由とリスク

詩歌・文学の表現は自由であるべきです。

ときに社会一般の規範などに抵触しトラブルを引き起こす場合がありますので、執筆内容に起因することは執筆者自身が引き受けるという強い覚悟が必要です。

②編集人の裁量権

上記の通り、原稿の内容は自己責任が原則ですが、「かばん」誌に掲載するものである以上、短歌誌「かばん」としてふさわしくない原稿、会や会員の名誉を著しく損なう悪質な原稿などに対して、編集人は執筆者に修正要請、または原稿を不掲載とする権限を持ちます。（例：文学性のない政治や宗教の主張、個人や団体の喧伝あるいは誹謗中傷など）

Q2 「未発表」の範囲

詠草は「未発表作品」とされていますが、他の結社誌、歌会、勉強会に提出歌は出詠してもいいですか？ 自分のブログで公開した歌は OK ですか？

A 著作権トラブルに注意

著作権トラブルには注意が必要です。自身のブログ発表歌を「かばん」に掲載しても問題ありません。また、他の結社等の歌会出詠歌は、印刷発行等されていなければ、「かばん」側では問題ありません。しかし、他誌や WEB に発表した作品を「かばん」に掲載する場合は、既発表先の了承を得て、なおかつその旨を明記する等の対応が必要です。他に掲載されたものかどうか「かばん」編集部では把握できませんので、執筆者自身が配慮してください。なお、通常号詠草は未発表作品。特別号・特別作品では「かばん」誌に掲載されたものなら、再掲してかまいません。

Q3 旧字体を使用したいが

私は漢字は基本的に旧字体を使用しています。それはそのまま旧字体で歌誌に掲載されるでしょうか？

A 原稿はそのまま掲載が原則

旧漢字など変換しにくい場合も最善をつくしますが、データで入稿しているため、不可能な場合はご容赦ください。

— 一本誌以外の、「かばんの会」活動について（正会員、購読会員の方へ） —

〈歌会〉

●本誌掲載作品の相互批評会です。会員外の見学も歓迎しています。

- ・毎月1回、東京都内にて実施。
- ・「かばん」本誌を忘れずにお持ちください。
- ・日付、会場については本誌巻末の「かばん掲示板」、かばんブログにてご確認ください。
- ・会員（正会員・購読会員）は出席を申し出る必要はありません。直接会場にお越しください。
- ・問い合わせ先は、utakai@kaban-tanka.jp

〈地方サークル〉

- ・かばん関西 kansai@kaban-tanka.jp…地方在住有志の運営によります。メーリングリスト上の歌会など。
- ・地方歌会 kabanutakai.chihou@gmail.com…有志の運営によります。